令和６年度

第１回松本市健康づくり推進協議会　次第

日　時　令和６年７月２６日（金）
　　午後１時３０分～
場　所　Ｍウイング４－４

１　開　会

２　あいさつ

３　委嘱状交付

４　委員紹介

５　報告事項

(1)令和５年度の成果指標

(2)令和６年度の事業の取り組み（重点施策）

ア　口腔がん検診助成事業

イ　後期高齢者健診を活用したフレイル該当者の把握及び個別支援の試行実施

ウ　新型コロナウイルスワクチン接種

６　協議事項

(1) 次世代期におけるプレコンセプションケアの取り組みについて

７　その他

８　閉会

【今後の予定】
第２回　令和７年２月下旬～３月上旬

成果指標　令和5年度の状況

基本理念 ： 誰もが健康を実感できるまち
子どもから高齢者、病気や疾病がある人を含め、全ての市民が将来のことではなく、「現在」を生き生きと自分らしく健康に暮らすことができるまちを目指す

最終目標 ： 健康寿命の延伸　【(R3男性 81.50 女性 85.12)(R元男性 80.79 女性 84.63)】

		目指す姿	指標	R４策定時		目標値（R９）	現状	
次世代期	データ分析に基づく重点的取り組み	安心して妊娠・出産・子育てができる	妊娠・出産について満足しているものの割合(すこやか親子)	８１．９％	R３	増加	８７．１％	R５
			ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合（すこやか親子）	４か月健診：８８．２％	R３	増加	８９．３％	R５
				1歳６か月健診：７９．９％	R３		８０．６％	R５
				３歳児健診：７９．１％	R３		７７．０％	R５
			すくすくアルプちゃんの登録者数 稼働率※すくすくアルプちゃん稼働率 → MAU (Monthly Active Users) 12カ月分の平均 R4.12～R5.11月の12か月の平均	３，８９８人	R４.５	増加	５，７０９人	R６６.１
				稼働率１０．０％	R４.５		16.91%	R６６.１
			育児期間中の両親の喫煙率（すこやか親子）	父：２６．９％ 母：　３．３％	R３	減少	父：２７．２％ 母：　４．０％	R５
			中学生女子のやせの割合（中学生全学年）	３.７７％	R元	減少	３.60%	R５
	生活習慣の改善や疾病予防	健全な生活習慣を身に付け、生涯にわたり健康な生活を送る	朝食を毎日とる児童・生徒の割合	小学５年生 ９０％	R元	１００％に近づける	小学５年生 ９１％	R４
				中学２年生 ８５．２％	R元		中学２年生 ８６.７％	R４
			自分のことが好きだとする子どもの割合	６４．３％	R３	８０％	－	
			むし歯保有率	１歳６か月健診１．１％	R３	１．０％以下	１歳６か月健診０．８％	R５
				３歳児健診７．０％	R３	減少	３歳児健診５．９％	R５
			低出生体重児数	８．８％	R元	減少	９．０％	R４
			中学生女子のやせの割合	３．７７％	R元	減少	３．６０％	R５
			子育て中の保護者の喫煙率	父：２６．９％ 母：　３．３％	R３	減少	父：２７．２％ 母：　４．０％	R５

		目指す姿	指標		R４策定時		目標値（R９）	現状	
青壮年期	データ分析に基づく重点的取り組み（がん対策）	・市民一人ひとりが、がんの正しい知識を持ち、予防から早期発見、治療に取り組む ・がんになった方が安心して自分らしく暮らすことができる	５大がん罹患者数(全国がん登録)		９４９人	H３０		－	
			がん検診受診率	胃がん検診	３．１％	R３	５．０％	３．０％	R５
				大腸がん検診	１８．４％	R３	３０．０％	１７．２％	R５
				肺がん検診	２１．１％	R３	２５．０％	１９．９％	R５
				乳がん検診	２１．５％	R３	２８．８％	２２．４％	R５
				子宮がん検診	１８．９％	R３	２５．０％	１９．９％	R５
			大腸がん検診精密検査受診率		７０．３％	R３	９０％以上	７２．３％	R５
			プロセス指標(検診の精度管理指標)				許容値内	大腸がん要精検率、子宮がん検診陽性反応的中度以外は許容値内となっている	

		目指す姿	指標	R４策定時		目標値（R９）	現状	
青壮年期	データ分析に基づく重点的取り組み（循環器病等生活習慣病対策）	・適切な医療受診により重症化を予防し、病気になっても自分らしく生きる ・適切な運動や食事に心がけ、自ら健康づくりに取り組む	脳血管疾患の新規患者数(国保)（人/千人）	２．０９	R３	１．９１	１．９８	R５
			虚血性心疾患の新規患者数(国保)（人/千人）	２．３８	R３	１．９	１．８３	R５
			新規糖尿病性腎症患者数(国保)（人/千人）	０．８７	R元	０．８	０．６３	R５
			特定健診受診率	３８．０％	R２	６０％	４１．３％	R５
			特定保健指導受診率	４７．３％	R２	６０％	４７．３％	R５
			食べる速度が速いと回答する人の割合	２９．８％	R２	減少	３０．８％	R５
			３０分以上の運動を週２日以上実施していないと回答する人の割合	６１．１％	R２	減少	６０．６％	R５
			子育て中の保護者の喫煙率	父：２６．９％ 母：　３．３％	R３	減少	父：２７．２％ 母：　４．０％	R５
			歯周疾患検診受診率	６．４％	R３	増加	５．３％	R５

		目指す姿	指標	R４策定時		目標値（R９）	現状	
高齢期	データ分析に基づく重点的取組み（フレイル・オーラルフレイル）	フレイル・オーラルフレイルについて自分にあった予防や重症者予防対策に取り組む	フレイル有病率（フレイル健診結果）	７．３％	R３	減少	６．６％	R５
			第1号被保険者認定率	１９．１％	R2.10	２０．９％（R７年推計値より減少）	１８．７％	R5.10
			週1回以上の外出の割合（後期高齢者健診質問票回答結果）	８３．４％	R３	増加	８７．５％	R５
			BMI１８．５未満かつ２kg以上の体重減少ありの割合（後期高齢者健診）	男性２．５％	R３	減少	男性２．０％	R４
				女性３．５％	R３		女性３．４％	R４
			口腔機能低下症割合（後期高齢者健診口腔健診　咀嚼力・舌機能・嚥下機能・口腔乾燥　いずれかに該当）	１９．７％	R３	減少	２２．５％	R５
			いきいき百歳体操サークル数	７０か所	R３	１９０か所	１２６か所	R５
			フレイルサポート医養成者数	２９人	R４	９０人	４７人	R５
	生活習慣改善と疾病予防の取り組み	運動・食事社会とのつながりを通して健康の維持・向上を図る	介護保険認定者（第1号）の有病状況（筋・骨格疾患の割合）	５７．５％	R３	減少	５７．７％	R４
			後期高齢者健診受診率	４４．８５％	R３	５０％	４２．２％	R４
			後期高齢者歯科口腔健診受診率	８．７％	R３	１０％	９．８％	R５
			後期高齢者健診質問（週1回以上の運動習慣）	５６．８％	R３	増加	５６．７％	R５
			いきがいのある高齢者の割合（高齢者実態調査）	６１．７％	R2.10	増加	７０．４％	R４

		目指す姿	指標		Ｒ４策定時		目標値（Ｒ９）	現状	
食育推進計画	目指す姿：豊かな体験でつながる松本の食　はぐくむ　すこやかな体と心	目標 ・楽しく食べる経験を通じて健やかな体と心を育む ・松本の郷土食や地域の食材について学び伝える ・食べ物を残すことをもったいないと思う気持ちを醸成する	①朝食を毎日摂る児童生徒の割合	小学５年生	９０％	R元	１００％に近づける	９１％	R４
				中学２年生	８５．２％	R元		８６．７％	R４
			②食べる速度が速いと回答する人の割合		２９．８％	R２	減少	３０．８％	R５
			③給食に地場産物を利用する場合	県内産　学校給食	５０．１％	R３	維持	５２．９％	R５
				県内産　保育園・幼稚園	３９．９％	R３	維持	３４．２％	R５
				市内産　学校給食	２１．９％	R３	維持	２２．５％	R５
				市内産　保育園・幼稚園	１１．２％	R３	維持	９．８％	R５
			④長野県や住んでいる地域の郷土食を知っている児童・生徒の割合	小学５年生	４７．７％	R元	５０％	３３．６％	R４
				中学２年生	６５．８％	R元	７０％	６４．７％	R４
			⑤　公民館での食に関する講座数		公民館講座６８回	R３	増加	１１８回	R５
			⑥　農業・加工体験を体験した園児・児童の人数		５，２３２人	R３	増加	９，８０９人	R５
			⑦　食生活改善推進員の人数		会員数２６８人	R４	維持	会員数２３６人	R５
			⑧　食品ロスの削減に取り組む市民の割合		８０．８％	R元	８５％	７５．４％	R４
			⑨　食べ物を残すことをもったいないと思う児童の割合（小学５年生）		８４．０％	R元	９０％	８４．２％	R４

		目指す姿		事業名	Ｒ４策定時		目標値（Ｒ９）	現状	
自殺予防対策推進計画	●目指す姿：誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現	目標 ・生きる力を支える環境づくり ・子ども・若者、働き盛り世代への支援強化 ・生きることを支援する他機関協働	生きる力を支える環境づくり	検索連動型広告のクリック率	８．６３％	Ｒ３	１０％	８．５９％	Ｒ５
				個別地域ケア会議の開催	３２回	Ｒ３	７０回	１９地区で３０回	Ｒ５
				地域支援者への研修実施地区数	３５地区	Ｒ３	３５地区	３５地区	Ｒ５
				地域支援者への研修受講人数	１，９０５人	Ｒ３	２，４００人	２，０１０人	Ｒ５
				公民館での学習機会の提供 （趣味や学びを通じて、充実した日常生活を送っていると思う市民の割合）	６５．４％	Ｈ３０	６４％	－ ３５地区（指標データがないため地区数で評価）	Ｒ５
				自主運動サークル支援事業立上げサークル数 （住民主体の通いの場の創出）	７０か所	Ｒ３	１９０か所	１２６か所	Ｒ５
			子ども・若者、働き盛り世代への支援強化	子どもの居場所づくり推進事業 参加して嬉しかったり、自分への自信が高まった子どもの割合	８８．２％	Ｒ３	１００％	７５．６％	Ｒ５
				思春期自殺予防パンフレット等 配布数	１０，２７２部	Ｒ３	継続	１１，８３１部	Ｒ５
				「SOSの出し方に関する教育」 実施回数	１４回	Ｒ３	１８回	２６回	Ｒ５
				こころの鈴の認知度	７６．７％	Ｒ３	８０％	７６．７％	Ｒ５
				高校・大学等と連携した教育・ 啓発実施回数	１回	Ｒ３	１７回	１回	Ｒ５
				育てにくさを感じた時に対処できる親の割合	８３．９％	Ｒ３	増加	８１．３％	Ｒ５
				妊娠・出産に満足している者の 割合	８１．９％	Ｒ３	増加	８７．１％	Ｒ５
				こんにちは赤ちゃん事業から適正な支援につないだ割合	１００％	Ｒ３	１００％	１００％	Ｒ５
				健康経営に取り組む企業・ 事業所数	８０社	Ｒ３	８０社	１２１社	Ｒ５
			生きることを支援する他機関協働	自殺予防専門相談「いのちのきずな松本」の相談件数	実人数８３人 延べ人数１，４６２人	Ｒ３	継続	実人数１０９人 延人数１，７４２人	Ｒ５
				自立支援相談「まいさぽ松本」稼働可能な相談者のうち就職 又は増収した者の割合	７２％	Ｒ３	９０％以上	３６％	Ｒ５
				精神保健相談相談件数	実人数６９人 延べ人数７０人	Ｒ３	継続	実人数６６人 延人数６８人	Ｒ５
				事例検討開催回数 研修会開催回数	相談員１２回 庁内職員１回	Ｒ３	拡充	相談員１２回 庁内職員１回	Ｒ５
				自殺未遂者支援のための医療連携システム構築	関係機関へヒアリング	Ｒ３	システムの構築	体制が整い次第開始	Ｒ５

令和6年度の事業の取り組み（重点施策）

項目	内容
地域を基盤とした健康づくり	・より身近な地域で健康課題に沿った健康づくりの取り組みの実施 ・地区関係職員・関係団体等と連携した地域で支えあう体制の整備 〇身近な地域での子育て支援 〇フレイル予防の地域での展開 〇健康増進総合計画を基に、各地区課題の分析と事業展開 〇重層的支援体制（地区担当職員間の調整役） 〇健康情報の発信
次世代期	・身近な地域を中心に、妊娠期から子育て期まで相談や健診など継続性のある支援を実施 【新】プレコンセプションケア実施体制の構築に向けた関係課との調整（小中学校の出前講座の再構築など）
青壮年期	・特定健診・特定保健指導率向上 ・循環器病など生活習慣病対策への取り組みとして、誰もが自ら健康づくりができる取り組み 【新】口腔がん検診の助成事業
高齢期	・フレイル健診・フレイル予防講座の推進 ・通いの場の創出「いきいき百歳体操サークル」の立ち上げ支援継続 【新】後期高齢者健診を活用したフレイル該当者の把握及び個別支援の試行実施 ・電力スマートメーターを活用したフレイル検知事業の推進と評価
たばこ	・禁煙希望者への支援 ・受動喫煙防止動画を活用した啓発（はじめの1本を吸わせない）
食育	・まつもとだいず大作戦のさらなる取り組み ・4つの重点（朝食・郷土食・データ分析・レシピ集）の継続 ・食生活改善推進員の養成と活動のさらなる強化
自殺予防対策	・子ども若者への支援として、SNS 等を活用した相談体制の検討 ・ケートキーパー養成講習会（市民向けに実施） ・自殺未遂者支援対策の体制整備
予防接種	・ HPV（ヒトパピローマウイルス感染症） 定期接種及びキャッチアップ接種（令和6年度が最終年度）の、接種勧奨を強化 【新（定期化）】 新型コロナウイルスワクチン接種 令和6年度から、インフルエンザ定期予防接種と同様の65歳以上の高齢者を対象に、年に1回秋冬に B 類の定期予防接種（努力義務及び接種勧奨の規定なし）として原則有料で実施 定期接種の実施については、使用ワクチン等動向に注視しながら、今後関係医療機関と協議

（報告事項１）

令和６年度口腔がん検診助成事業について

１　概要

口腔がんは日本人が発症するがん全体の１～３％ほどと決して多くはありませんが、全国で年間１万例、長野県でも１００例を超える口腔がんが発生しています。

進行した状態で治療を始めた場合、外科治療後のＱＯＬが大きく損なわれることから、早期発見・早期治療を推進するため、松本市歯科医師会と連携し、検診を行うものです。

２　検診の内容

⑴　対象年齢　４０歳以上（口腔がんの治療中または経過観察中の方を除く）

⑵　検査項目　問診、視触診

⑶　検診料金　３，０００円（うち個人負担５００円）

⑷　実施場所　松本市歯科医師会加入協力医療機関　約１３０箇所

⑸　実施時期　１０～２月

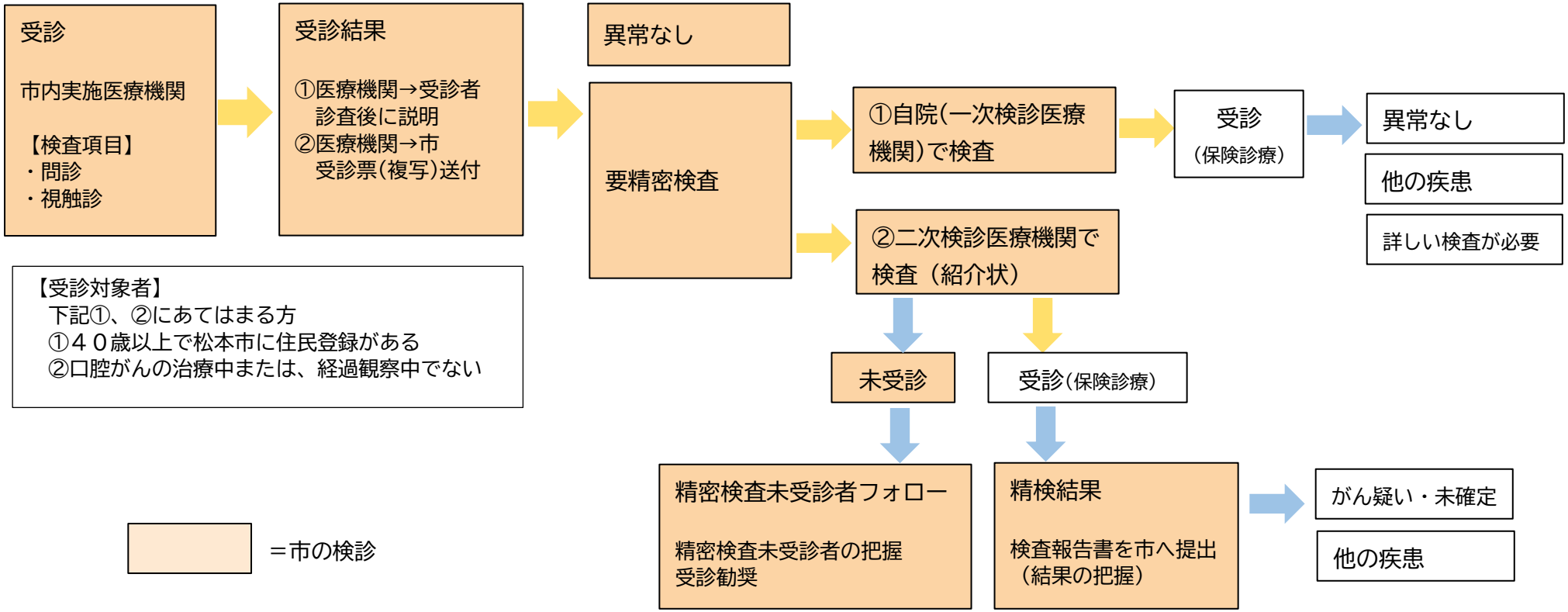
⑹　周知　　市ホームページ、広報

⑺　その他　　精密検査未受診者の把握及び受診勧奨、結果の取りまとめを市が行う。

３　口腔がん検診の流れ（案）

別紙のとおり

口腔がん検診の流れ（案）


受診
市内実施医療機関
【検査項目】
・問診
・視触診
受診結果
①医療機関→受診者
診査後に説明
②医療機関→市
受診票(複写)送付
異常なし
要精密検査
①自院(一次検診医療機関)で検査
受診
(保険診療)
異常なし
他の疾患
詳しい検査が必要
②二次検診医療機関で検査（紹介状）
未受診
受診(保険診療)
精密検査未受診者フォロー
精密検査未受診者の把握
受診勧奨
精検結果
検査報告書を市へ提出
（結果の把握）
がん疑い・未確定
他の疾患
【受診対象者】
下記①、②にあてはまる方
①４０歳以上で松本市に住民登録がある
②口腔がんの治療中または、経過観察中でない
＝市の検診

（報告事項２）

令和６年度後期高齢者健診を活用したフレイル該当者の把握及び個別支援の試行実施について

１　趣旨

令和３年度から高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業として、フレイル健診を行いフレイル該当者の把握と保健指導を行っていますが、参加者は７５歳以上高齢者人口の４．１％に留まり、フレイルの早期発見と早期介入が不十分です。また、後期高齢者健診受診者のうち、１１．６％がフレイル、１．４％が低栄養に該当していますが、介護予防や生活習慣改善につながる個別対応を行うことができていません。

そこで、多様化する高齢者の状況に応じ医療と連携し、専門外来への紹介や介護保険事業、地域資源等への接続をはじめとした個別支援を行い、介護予防につながる取組みを実施するものです。

２　令和５年度の実施状況

	受診者数	受診率	フレイル該当者	低栄養
フレイル健診	１，０７８人		７１人 （６．６％）	２６人 （２．４％）
後期高齢者健診	１５，２０３人	４２．３％	１，７６４人 （１１．６％）	２０７人 （１．４％）

３　実施期間

令和６年７月から９月まで(後期高齢者健診実施期間)

４　実施医療機関

フレイルサポート医研修を受講し後期高齢者健診を行う医療機関１０か所
（実施医療機関は別紙　資料１のとおり）

５　実施内容

別紙　資料２のとおり

６　今後の方針

⑴　令和６年度　フレイルサポート医（１０か所）の医療機関で試行実施し、松本市フレイル予防推進協議会にて実施状況及び課題等の協議
⑵　令和７年度　実施医療機関を拡大し、フレイルチェック及び保健指導の実施
⑶　令和８年度　後期高齢者健診を行う全ての医療機関で実施

後期高齢者健診を活用したフレイルチェック試行実施医療機関（Ｒ６）

資料1

	医療機関名	氏名 （フレイルサポート医）	郵便番号	住所	電話番号
1	大久保クリニック	藤原　健志	３９０－０８５１	松本市島内３５３３	４７－４３４１
2	久保田外科医院	久保田　充	３９０－０８６１	松本市蟻ケ崎２－４－２２	３２－７６２１
3	須澤内科小児科医院	須澤　博一	３９０－０８７５	松本市城西１－８－１５	３２－１３０５
4	せきクリニック	関　学	３９０－０８２５	松本市並柳２－１３－１	２４－０３５５
5	高山内科明生会	前島　さやか 前島　信也	３９０－０８５１	松本市島内１７８８－２	４７－３５００
6	中垣内科医院	中垣　嘉信	３９０－０８４７	松本市笹部１－３－２	２８－１７５１
7	みぞうえ内科医院	溝上　哲朗	３９０－０８７１	松本市桐２－５－５	３３－５９００
8	山辺温泉 花岡整形外科	花岡　　徹	３９０－０２２１	松本市里山辺１１４０－１	３３－２５８１
9	岡野医院	岡野　和弘 清澤　和弘	３９０－１７０１	松本市梓川倭５７５－１	７８－２８０４
10	小沢内科医院	小沢　利明	３９０－１７０２	松本市梓川梓８５３－３	７８－４８１１

資料 2

後期高齢者健診を活用したフレイルチェック（健診実施医療機関での実施手順）

健診実施医療機関

☆通常どおり後期高齢者健診を実施

健診データの送付

松本市医師会検査健診センター

結果票の送付

☆以下をスクリーニングとして、フレイル該当者を抽出

フレイルチェック（15項目の質問票＝後期高齢者健診票を活用）
質問６：６か月で２～３kg 以上の体重減少 質問７：歩く速度が遅くなってきたか 質問９：１回/週以上の運動、 質問１０：物忘れがあると言われているか

☆健診結果票に加え、フレイル該当者のみ報告書を追加作成

健診結果票

【該当者のみ】フレイル該当報告書

健診実施医療機関

☆フレイル該当報告書のある方のみ、対応方針（下記①②③）を検討

①

生活指導が必要

・健診検査データの結果、質問票の結果から指導が必要な場合

自院での指導

（初期対応・継続支援）

②

フレイル外来の紹介が必要

3点以上＋指輪っか該当

他かかりつけ医の判断で専門医療機関での治療が必要な場合

市内　フレイル外来を紹介

松本市立病院、藤森病院、丸の内病院

健診実施医療機関での対応

③

地域支援が必要

・低栄養（基準例）

BMI18.5 未満かつ体重減少かつ、自院での栄養指導が難しく、支援が必要と認めた場合

・地域とのつながりが薄い場合

・介護サービスが必要な場合

松本市での対応

フレイル情報提供書を記載

（フレイル該当者全員について記載）

松本市へ提出

R６．７月

（報告事項３）

令和６年度新型コロナウイルスワクチン接種について

１　予防接種法上の分類

定期予防接種（Ｂ類疾病※）

※主に個人の発病又はその重症化の予防目的。接種努力義務なし。

２　対象者

接種当日に松本市民で次の条件に当てはまり、かつ、接種を希望する方

⑴　６５歳以上（６５歳の誕生日前日から接種可能）

⑵　６０歳～６４歳で心臓・呼吸器・腎臓の機能、もしくはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に障害のある、身体障害者手帳１級をお持ちの方

※高齢者インフルエンザ接種と同様

３　接種時期及び接種回数

令和６年１０月１日（火）～令和７年３月３１日（月）に１回

※高齢者インフルエンザ接種は例年どおり令和７年１月末までの期間とする。

４　接種費用（今年度限りの金額）

⑴　個人負担額

ア　生活保護受給者　　０円

イ　ア以外　　１，８００円

⑵　委託料（初診料・手数料・指導料・ワクチン等医薬材料費及び消費税を含む）

ア　生活保護受給者　１５，３００円

イ　ア以外　　１３，５００円

５　使用ワクチン・ワクチン代

使用ワクチンは「JN.1系統」に対応するワクチンで薬事承認を受けたもの。

ワクチン代は１１，６００円/人程度

６　周知方法

⑴　対象者にハガキで接種案内通知（高齢者インフルエンザワクチン接種と併せて）

⑵　広報まつもと８月号で制度周知、９月号で実施医療機関名周知

⑶　医療機関等へポスター掲示

⑷　ホームページ・SNS・地区担当保健師の地区活動等で周知

７　予診票

松本市で印刷し医療機関へ配置（高齢者インフルエンザ接種も同様）

（協議事項）

次世代期におけるプレコンセプションケアの取り組みについて

1　趣旨

松本市では、次世代期の施策として、妊娠前の健康管理（プレコンセプションケア）の推進を健康増進総合計画に掲げています。男女を問わず、将来の妊娠のための健康管理に関する正しい知識の普及を推進するなどのプレコンセプションケアに関する取り組みについて協議いただくものです。

2　現状と課題（別紙１）

⑴　出生数の減少と出産年齢の上昇

ア　出生数は年々減少

イ　20 歳代の出産が減少し、30 歳代の出産が増加。30 歳後半から 40 歳代の出産がさらに増加

ウ　低出生体重児の出生数は横ばい傾向もしくは微増傾向

⑵　ハイリスク妊婦の増加

ア　サポート不足（夫婦の実家が県外等で、産後の育児支援が得られにくい等）

イ　不妊治療を１年以上受けて妊娠する者が増加傾向

ウ　BMI17 未満の者が増加傾向

⑶　産後の育児支援事業の充実

ア　産後ケア事業は日帰り（デイ）の利用が増加傾向

イ　育児ママヘルプサービス事業は３歳未満児家庭サポートクーポン事業の対象事業となり、利用料が無料となったため、利用者・時間が増加

ウ　新生児訪問は出産・子育て応援給付金事業の産後の伴走型相談支援を兼ねているため、全数に対し家庭訪問または育児相談を実施

⑷　すこやか親子アンケートから

ア　妊娠・出産について満足しているものの割合が増加

イ　ゆったりとした気分で子どもを育てる時間がある母親の割合が微増

ウ　積極的に育児をしている父親の割合が増加

エ　育児期間中の父親の喫煙率はおおむね低下傾向、母親の喫煙率は子供の年齢が上がるにつれて、増加

3　今年度の事業予定　（別紙２）

4　協議内容

⑴　若年層への効果的な周知について

妊娠届出以降の支援や事業は充実してきている反面、妊娠前の若年層への取り組みが少ない現状があります。

学校・地域等ですでに取組みのある事業や、様々な情報の周知啓発について、どのような方法が効果的か。

⑵　低出生体重児の要因の一つである、低体重妊婦の対策について

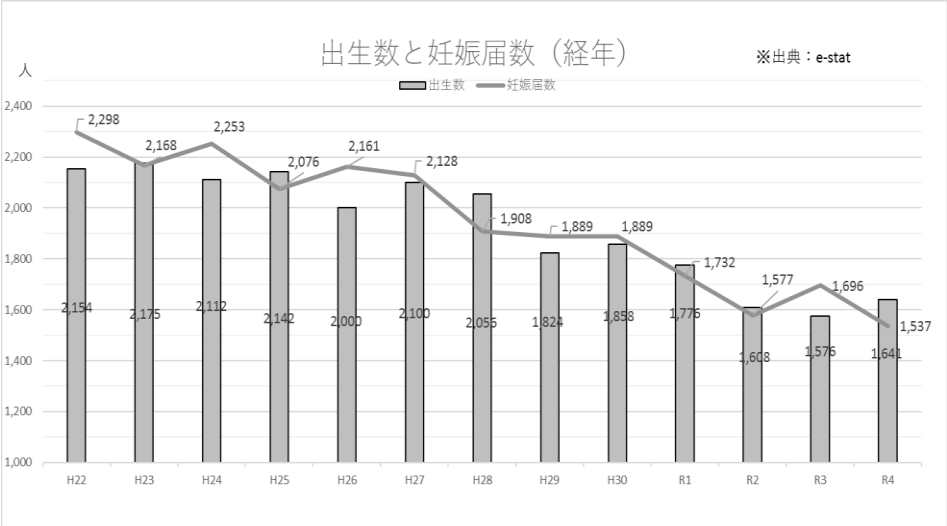
妊娠届出時に低体重妊婦の栄養指導を実施している。妊娠期間中の対策および妊娠前の将来の妊娠のための健康管理として、正しい知識を普及するためにどのような対策が必要であるか。

別紙1

妊娠期・乳幼児期の現状と課題

1　出生数の減少と出産年齢の上昇

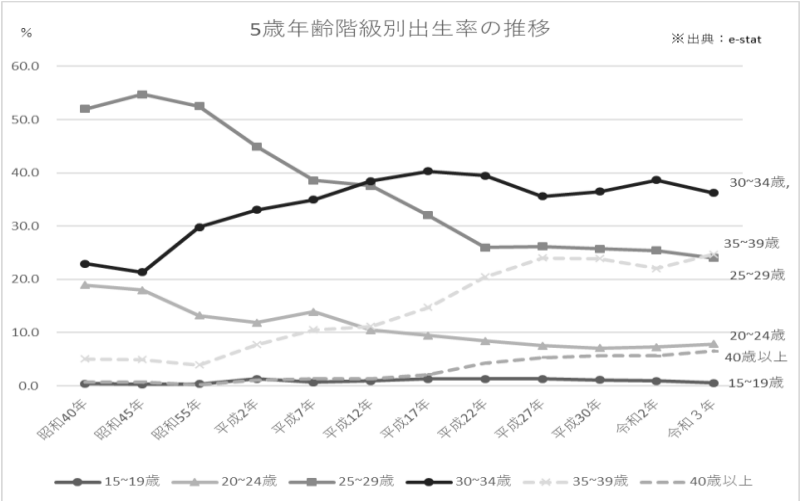
(1)　出生数と妊娠届出数



【出生数および妊娠届出数】
医療機関で妊娠が確認され、妊娠届出をした件数

健康づくり課・保健センターの窓口で妊娠届出を受付し、母子健康手帳の交付と合わせて、見通しをもって妊娠・出産・子育てができるよう、各種制度の案内や相談を実施しています。

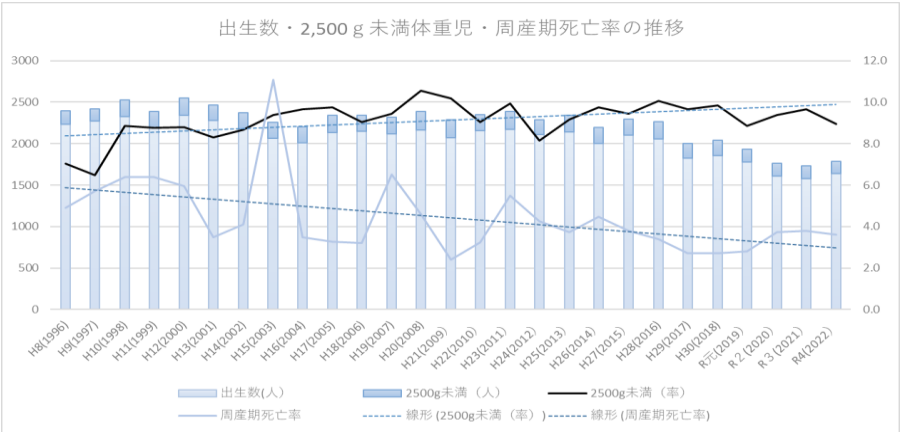
(2)　５歳年齢階級別出生率の推移



【年齢（階級）別出生率】
女性人口千人に対する年間出生数の割合を年齢（階級）でみたもの

20 歳代が減少し、30 歳代が増加している。近年は、30 歳代後半から 40 歳以上の高齢出産がさらに増加しています。

(3)　出生数・低出生体重児・周産期死亡率の割合



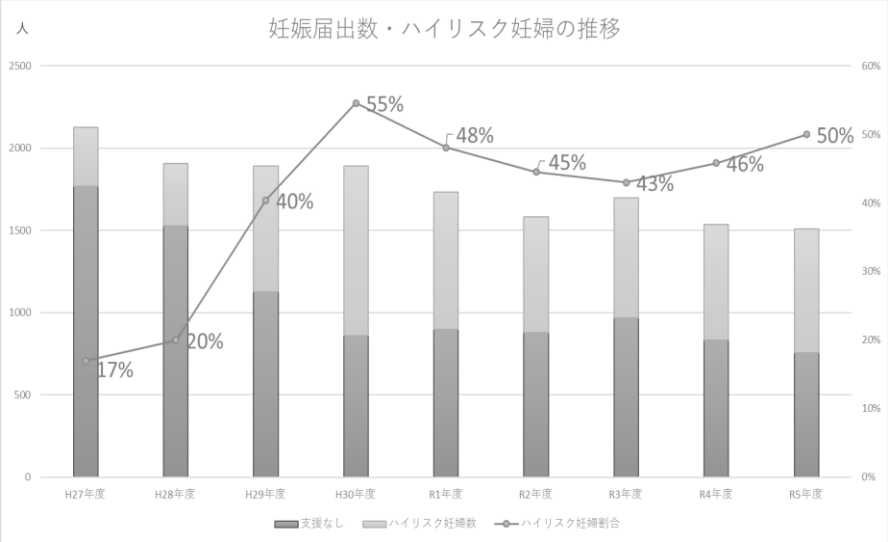
【低出生体重児】
出生時体重が 2,500g 未満の児
【周産期死亡】
妊娠満 22 週以後の死産数に早期新生児死亡を加えたもの

周産期医療や小児医療等の体制整備が進み、周産期死亡率は低下してきています。低出生体重児の出生数は横ばい傾向もしくは微増傾向がみられます。

低出生体重児については、将来の生活習慣病のリスクもあるとされるため、妊娠届出時にBMI17未満の妊婦に対し管理栄養士による栄養指導の実施や、受動喫煙のリスク等について周知をしています。

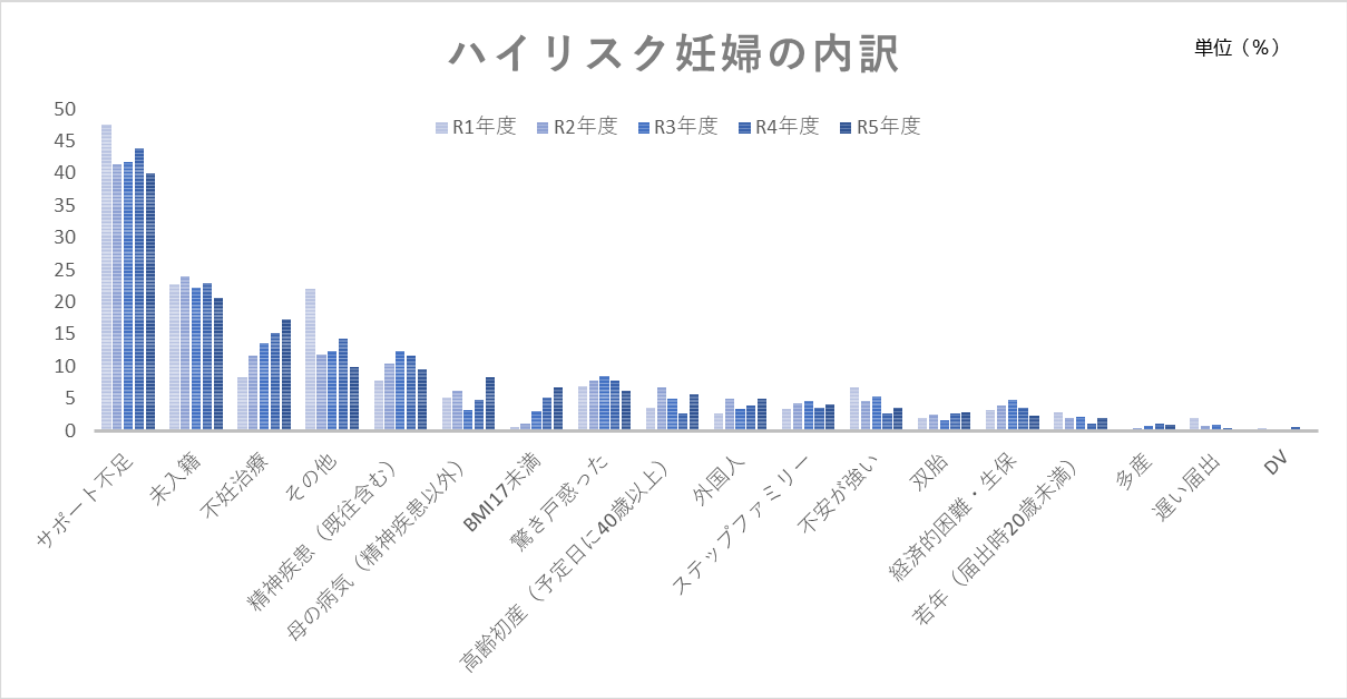
2　ハイリスク妊婦の増加

⑴　妊娠届出数･ハイリスク妊婦の推移



【ハイリスク妊婦】
　妊娠届出時に妊婦に対しアンケートを実施し、妊婦の心身の状況や家族の状況等についてアセスメントをしています。
　ハイリスク要因の内訳は４－⑵のとおり。
　ハイリスク妊婦と判定した妊婦には妊娠期間中から、電話や面談等で支援を行っています。

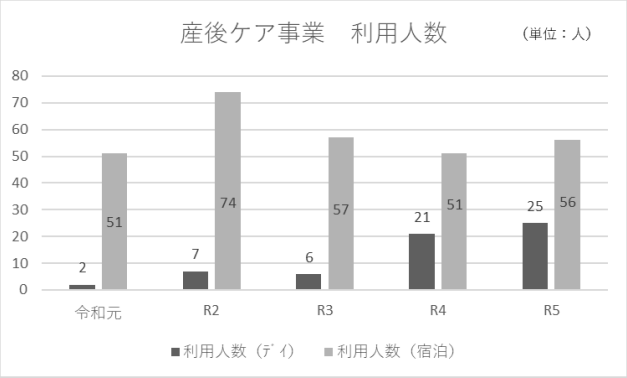
⑵　ハイリスク妊婦の要因の内訳

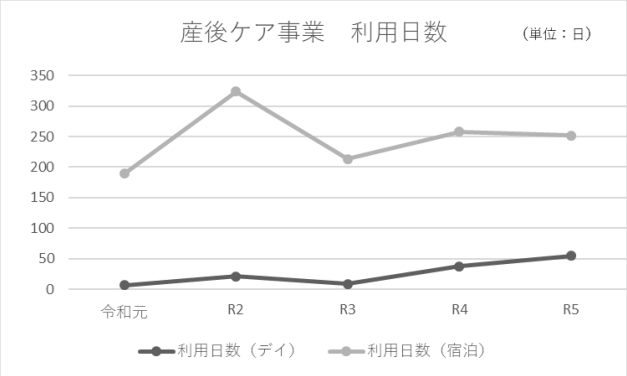


【ハイリスク妊婦の内訳】
　複数のハイリスクの要因を併せ持つ妊婦もいます。身体的リスク、産後うつのリスク、養育の支援等、複合的に併せ持つ妊婦もおり、見通しをもって出産・育児ができるよう支援しています。
　出産年齢の上昇から、身体疾患合併妊娠や不妊治療が増加がしていると考えられます。
　妊娠届出時の BMI が 17未満の妊婦は、わずかであるものの増加傾向がみられます。

3　産後の育児支援事業の充実

⑴　産後ケア事業





【産後ケア事業】

医療機関や助産院での宿泊及びデイケア（日帰り）により、母親の身体ケア及び授乳指導・育児相談等を行うもの。利用料の８割を市が負担

利用期間は母親の退院後 120 日以内、利用期間の限度は宿泊６泊７日、デイケア（日帰り）７日まで

令和６年度から 1 日当たりの利用料から 2,500 円の減免（５日間を限度）制度が開始となっています。

⑵　母乳･育児相談事業

年度	母乳育児相談	
	利用人数	利用枚数
令和元	501	1,148
2	447	994
3	455	1,019
4	531	1,194
5	405	965

【母乳・育児相談事業】

母乳育児を希望する者や育児不安が強く支援を必要とする者に対し、育児困難や育児不安解消のため、母乳相談・育児相談を指定の医療機関や助産院で行うもの

申請により、市が３，０００円分（１，０００円×３枚）を助成。利用期間は、子どもが１歳の誕生日を迎える前日まで

⑶　育児ママヘルプサービス事業

年度	申請者数	利用人数	利用時間
令和元	33	22	190
2	27	10	45
3	26	17	87
4	32	24	155
5	52	47	327.5

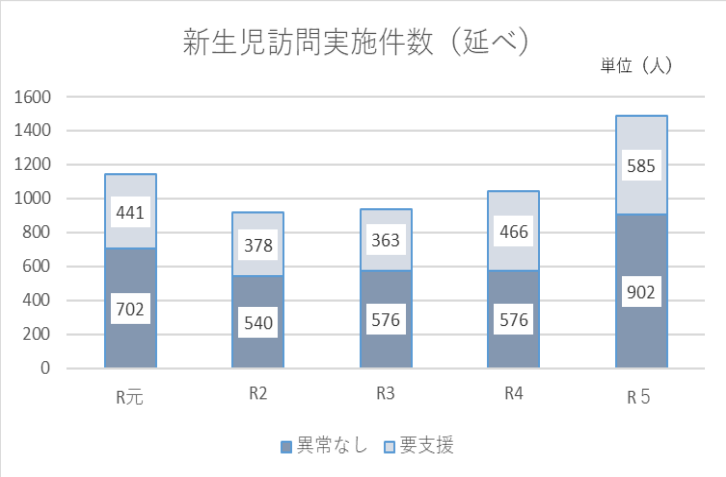
【育児ママヘルプサービス】

核家族等で昼間育児協力者が得られず、育児等が不安または困難な者に対して、助産師を派遣し、育児援助（沐浴・授乳等）や相談・助言を行うもの

利用は平日のみで１回２時間までとし、利用料は１時間あたり８００円。利用期間は、生後９０日以内に開始し２０回まで。（ただし、多胎の場合は１歳の誕生日を迎える前までに５０回利用可）

Ｒ５年度から、３歳未満児家庭サポートクーポン対象事業となり、１５時間分まで無料となったため、利用者が増加してきました。

⑷ 新生児訪問および新生児相談



【新生児訪問および新生児相談】

産婦および出生児に対し、生後４か月までに保健師または助産師が家庭訪問を実施。また第２子以降の希望者には、家庭訪問の代わりに保健センター等での助産師による育児相談を実施

令和４年３月から、出産子育て応援給付金事業に伴う伴走型相談支援の産後の面談として実施しているためすべての家庭に実施をしています。

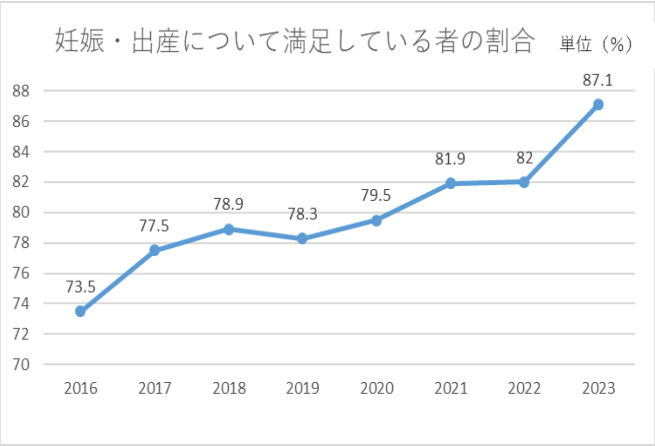
4 すこやか親子アンケート(成育医療等基本方針に基づく評価指標)の集計から

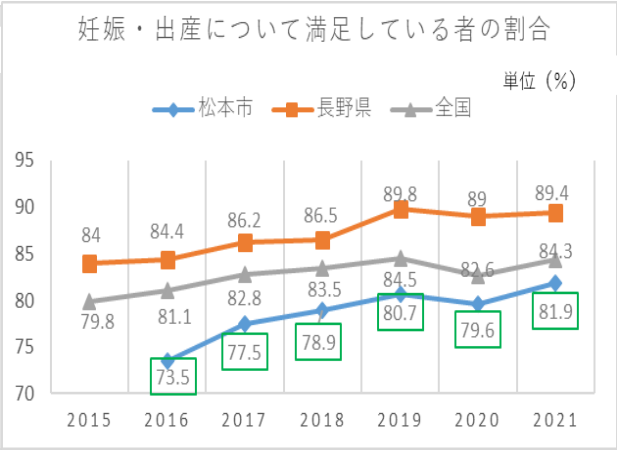
※すこやか親子アンケート

厚生労働省が 21 世紀の子どもと親の健康づくりを進める国民運動計画として策定した「すこやか親子21」について、親子の状況の変化や、評価、今後のサービスの役立てるために、全国で実施しているものです。3～4か月児、1 歳 6 か月児、3 歳児健診でアンケートを実施しています。令和 6 年度からは成育医療等基本方針の成果指標として、一部の質問項目を変更しています。

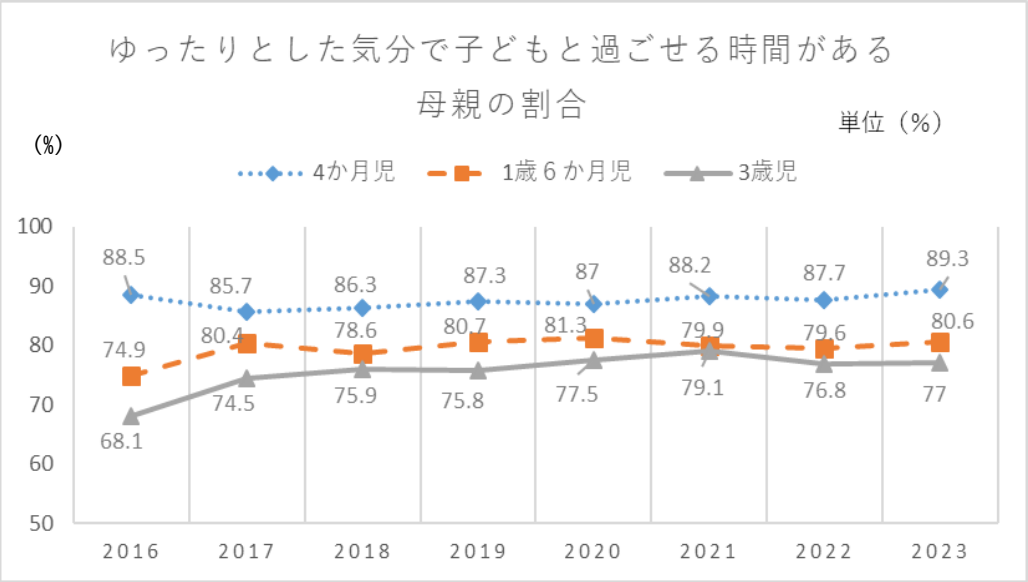
⑴ 妊娠･出産について満足している者の割合

※質問項目：「産後退院してからの 1 か月程度、助産師や保健師からの指導・ケアは十分に受けることができましたか？」

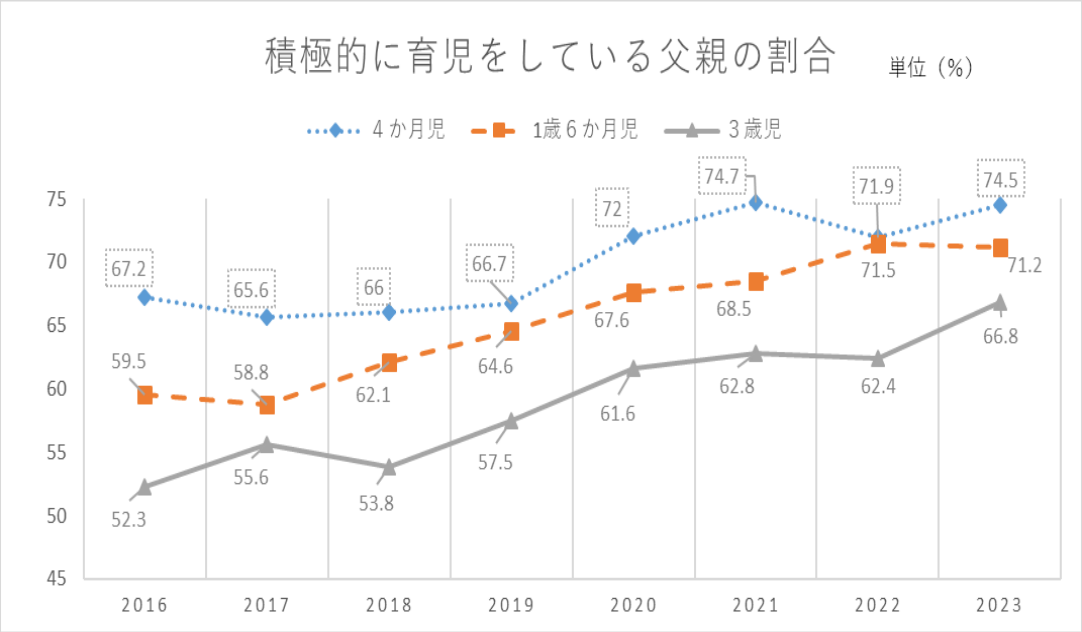




⑵ ゆったりとした気分で子どもを育てる時間がある母親の割合（各健診時の推移）
※質問項目 「お母さんはゆったりとした気分でお子さんと過ごせる時間がありますか」

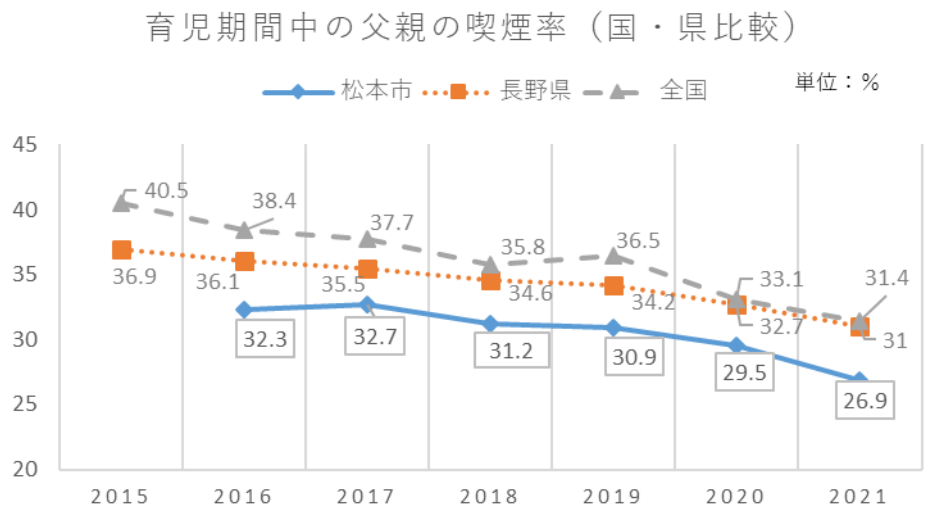


⑶ 積極的に育児をしている父親の割合
※質問項目 「お子さんのお父さんは育児をしていますか」



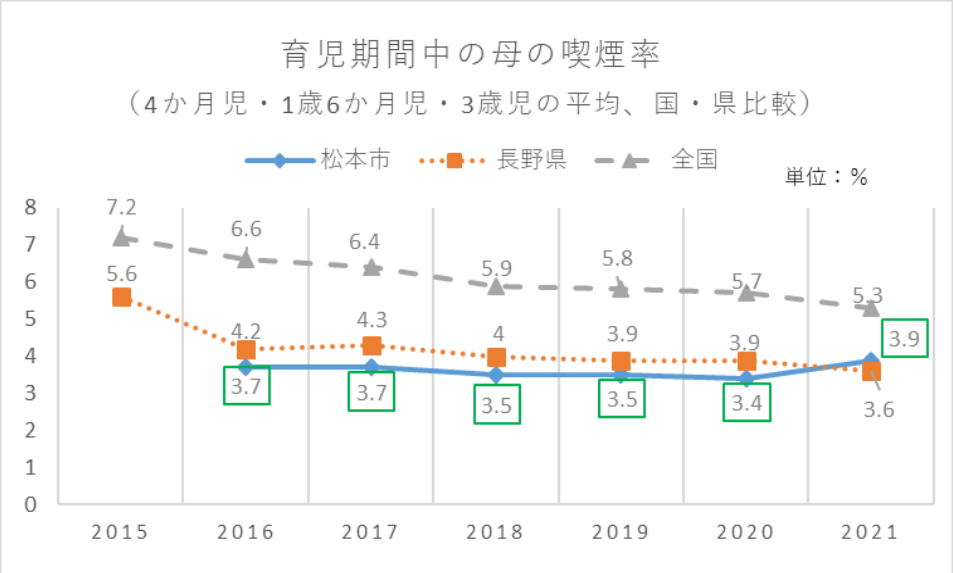
⑷　育児期間中の父親の喫煙率（国・県比較）

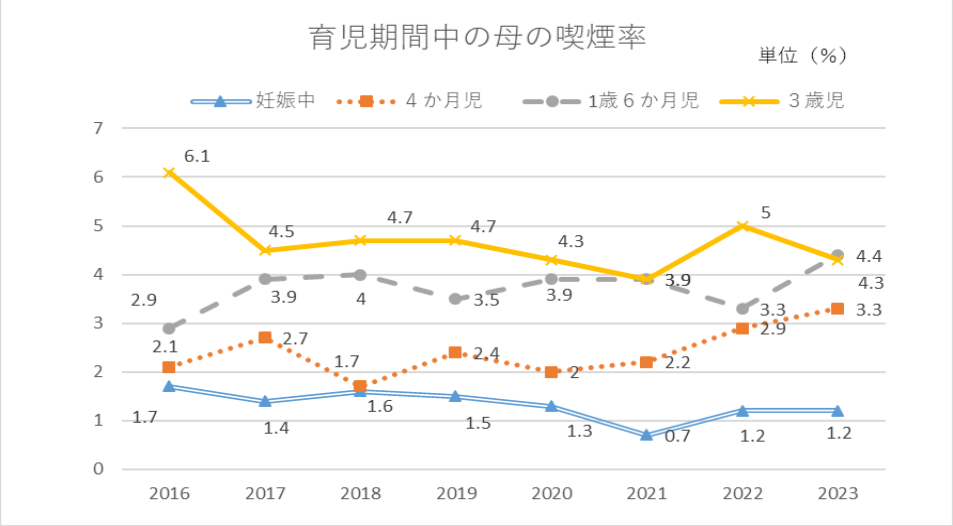
※質問項目「現在、お子さんのお父さんは喫煙をしていますか」



⑸　育児期間中の母の喫煙率（国・県比較）

※質問項目 「現在（妊娠中）、あなた（お母さん）は喫煙をしていましたか」





プレコンセプションケア事業　体系図

（将来の妊娠を考え生活や健康に向き合うこと、産後から次回妊娠までの期間における健康管理への取組み）

目指す姿：健康な生活を送り、安心・安全に妊娠・出産・子育てができる

出生 → 乳幼児期 → 小学校 → 中学校 → 高校 → 大学・成人 → 妊娠前 → 妊娠 → 出産 → 産後

学校等での学習

小学４年
・体の発育・発達
・思春期の体の変化

中学1年
・心身の機能の発達と心の健康（生殖に関わる機能の成熟）
中学3年
・健康な生活と疾病の予防（感染症予防）

高校１年
・健康の保持増進と疾病の予防（感染症予防）
高校２年
・生涯を通じる健康（思春期と健康、結婚生活と健康）

健康づくり課事業

健康相談（栄養・歯科含む）・家庭訪問

こどもの生活習慣改善事業
小学4年生、中学2年生へのおたより発行

風疹ワクチン

HPV ワクチン

中学３年・高校３年
レシピ集配布（市内全校）

プレコンセプションケア HP

ハタチの記念式典
プレコンセプションケア、たばこ関係、栄養チラシ配布

新社会人のつどい
新生活応援レシピ等
パンフレット配布

不妊治療助成

不育症治療助成

母子手帳発行

妊婦健診・産婦健診受診券交付

ハイリスク妊婦フォロー

妊娠中の動画配信

産後ケア

母子支援教室

新生児・産婦訪問

育児ママヘルプサービス

離乳食等の動画配信

子宮頸がん検診・乳がん検診

エイズ・HIV 等性感染症予防出前講座（希望校）
（松本市エイズ・HIV 等性感染症予防啓発推進協議会）

赤ちゃんお迎え準備講座（人権共生課との共催）

他部所の事業

次世代育成講座（人権共生課）
・理工チャレンジ・キャリアデザイン

リプロダクティブヘルス／ライツ講座（人権共生課）
・不妊治療と仕事の両立セミナー（人事関係者等を予定）
・スポーツと体・栄養・生理の仕組み

子育ておしゃべり会
（信州大学医学部保健学科主催）

ワークライフバランス講座（人権共生課）

男性育休支援講座（人権共生課）

長野県　不妊不育専門相談センター
（面談・電話相談・メール相談）

長野県　妊活健診（不妊検査）費用助成

出産・健診病院
両親学級・妊婦健診
産婦健診（2週間健診・1か月健診）

長野県助産師会　助産師相談室 in 信州　・健康・妊活～（助産師による無料電話相談・オンライン相談）